

・誰でもわかる がん講座・130 脳腫瘍の治療について・

脳腫瘍には、大きく分けて**原発性脳腫瘍**（脳そのものにできる腫瘍）と**転移性脳腫瘍**（ほかの臓器のがんが脳に転移してできる腫瘍）があります。原発性脳腫瘍の中には、悪性のもの（神経膠腫や膠芽腫など）から、良性のもの（髄膜腫や神経鞘腫など）までさまざまな種類があります。悪性腫瘍や転移性脳腫瘍では、手術だけでなく放射線治療や抗がん剤治療を組み合わせた**集学的治療**が必要となります。そのため、複数の診療科が協力できる総合病院での治療が重要です。一方、良性腫瘍の中には、手術で取り除くことで**完治が期待できるもの**もあります。

「脳の手術」と聞くとご心配される方も多いかと思いますが、現在は

- ・手術中に腫瘍の位置を正確に確認できる**ナビゲーションシステム**
- ・腫瘍だけを光らせて見やすくする**蛍光診断薬**

といった技術を用いることで、脳の大切な機能を守りながら、できるだけ多くの腫瘍を摘出する工夫がされています。医療技術の進歩により、脳腫瘍の治療成績は大きく向上しています。もし脳腫瘍と診断された場合も、どうぞ安心してご相談ください。

脳神経外科 主任医長 山崎 友郷